



盛岡市プレスリリース

～ひと・まち・未来が輝き世界につながるまち盛岡～

令和3年11月4日

盛岡市都南歴史民俗資料館

市政記者クラブ加盟社 各位

企画展「災いを乗り越えて」開催のご案内

当館では令和3年11月13日(土)～令和4年1月16日(日)の期間、企画展「災いを乗り越えて」を開催いたします。

東日本大震災から10年を迎えた今、新型コロナウイルス感染症の脅威にさらされています。人類は歴史上、疫病や天災などの災いに何度も苦しめられてきましたが、原因を探り対処することで乗り越え、後世のために記憶や記録を伝え残してきました。

本展では、都南地域において病や水害などにどのように対処し、祈り、乗り越えてきたのかを資料を通して紹介し、過去に学ぶ機会とします。

記

【開催期間】 令和3年11月13日(土)～令和4年1月16日(日)

【会場】 盛岡市都南歴史民俗資料館 本館展示室の一部

【展示資料】 ・伝染病諸費実費支払帳(明治32年)
・志和郡三本柳村分間大絵図(明治期カ)
・請願書[北上川治水工事之儀ニ付願](明治30年)
・下永井火災帳(明治34年) ほか

【関連事業】 展示解説

日時：令和3年11月21日(日) 13時30分～14時

申込み：不要，当日来館。

会場：盛岡市都南歴史民俗資料館

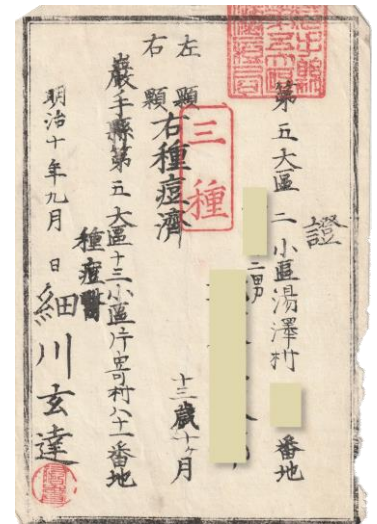
【開館時間】 9時～16時

【休館日】 月曜日(祝日の場合は翌平日)，年末年始
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため
変更になる場合があります

【入館料】 無料

【主催】 盛岡市都南歴史民俗資料館

【添付資料】 開催要項(別紙)，チラシ



種痘証〈明治10年〉(当館蔵)

【問い合わせ先】

盛岡市都南歴史民俗資料館

担当：藤川 里恵

TEL : 019-638-7228

住所：盛岡市湯沢1-1-38

企画展「災いを乗り越えて」開催要項

1 展覧会名

「災いを乗り越えて」

2 趣 旨

令和3年3月11日、東日本大震災から10年を迎えました。未だ震災の傷跡が癒えないまま、新たに新型コロナウイルス感染症という脅威にさらされています。

人類は歴史上、疫病や天災などの災いに何度も苦しめられました。しかし、原因を探り、技術を開発し、対処することで乗り越え、後世のために記憶や記録を伝え残してきました。

現代に生きる人々も、感染症と闘いながら、大震災を風化させないようさまざまな取り組みをしています。

本展では、過去の都南地域において、襲いくる病や河川が引き起こした水害などどのように対処し、祈り、乗り越えてきたのかを資料を通して紹介します。ひいては地域の記憶を思い出し、あるいは新たに知っていただく機会とします。

3 会 期

令和3年11月13日（土）～令和4年1月16日（日）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため変更になる場合があります

月曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始は休館

4 開館時間

午前9時～午後4時

5 会 場

盛岡市都南歴史民俗資料館本館展示室の一部

6 主 催

盛岡市都南歴史民俗資料館

7 主な展示資料

- ・伝染病諸費実費支払帳（明治32年）
- ・志和郡三本柳村分間大絵図（明治期カ）
- ・請願書〔北上川治水工事之儀ニ付願〕（明治30年）
- ・下永井火災帳（明治34年） ほか

8 展示構成

【やまいを乗り越える】

古来より感染症は恐れられ、医療が未発達時代には神だのみが主な対処法でした。

都南地域でも明治 32 年（1899）に見前村で赤痢感染者が現れるなど、病魔に襲われた記録が残されています。都南におけるやまいに関わる資料に加え、明治期の医療事情、信仰など、やまいを乗り越えるためにどのようなことをしていたのか紹介します。

【水害を克服する】

都南地域を東西に分断する北上川は、豊かな恵みをもたらす反面たびたび氾濫し、大きな被害を与えてきました。明治期の文書からは堤防工事を強く望む様子が見てとれます。

また、昭和期後半まで東西を行き来する交通手段として渡し船が用いられてきました。生活に不可欠でしたが、いたましい水難事故も引き起こしました。永久橋が完成する以前の渡船場についても紹介します。

【火災を防ぐ】

火災は消し止めることが難しく、大きな被害をもたらします。都南地域でも大正期の乙部大火など幾度か火災がありました。ここでは明治 34 年（1901）に飛び火が原因で起きた下永井大火を紹介します。加えて、消防体制の整備についても簡単に紹介します。

【飢えに備える】

藩政期、盛岡藩領は度々飢饉に見舞われました。明治期以降も天候に大きく左右され、不作や凶作の年が度々あり、凶荒に備え粃や穀物を備蓄するなどの対策が取られました。その関連資料を紹介します。

9 関連事業

<展示解説>

内 容：展示資料に関して、学芸調査員が解説

日 時：11 月 21 日（日） 13：30～14：00

会 場：盛岡市都南歴史民俗資料館 本館展示室

参加費：無料

申 込：不要，当日来館。

10 入場料

無料

11 周知方法

「広報もりおか」11 月 1 日号，地元広報誌，新聞社，市ホームページに掲載依頼して市民へ周知を図る。また，チラシを関係施設に配付し配架依頼する。

盛岡市都南歴史民俗資料館 企画展

災いを乗り越えて

大洪水

伝染病

天然痘症

令和3年

令和4年

11月13日(土)～1月16日(日)

開館時間 9時～16時 入館料 無料

休館日 月曜日(祝日の場合は開館、翌平日に休館)

盛岡市都南歴史民俗資料館

〒020-0842 盛岡市湯沢1-1-38 (都南つどいの森内)

TEL/FAX 019-638-7228

災いを乗り越えて

令和3年3月11日、東日本大震災から10年を迎えました。未だ震災の傷跡が癒えないまま、新たに新型コロナウイルス感染症という脅威にさらされています。

人類は歴史上、疫病や天災などの災いに何度も苦しめられました。しかし、原因を探り、技術を開発し、対処することで乗り越え、後世のために記憶や記録を伝え残してきました。

現代に生きる人々も、感染症と闘いながら、大震災を風化させないようさまざまな取り組みをしています。

本展では、過去の都南地域において、襲いくる病や河川が引き起こした水害などにどのように対処し、祈り、乗り越えてきたのかを資料を通して紹介することで、地域の記憶を呼び起こします。

本展の内容

- やまいを乗り越える
都南におけるやまいに関わる資料、明治期の医療事情、信仰などを紹介します
- 水害を克服する
北上川堤防工事を嘆願する文書や、渡船場にまつわる資料を展示します
- 火災を防ぐ
明治34年(1901)の下永井大火を紹介します
- 飢えに備える
明治期以降の備蓄に関する資料を展示します

主な展示資料

- ・伝染病諸費実費支払帳(明治32年)
- ・志和郡三本柳村分間大絵図(明治期か)
- ・請願書[北上川治水工事之儀二付願](明治30年)
- ・下永井火災帳(明治34年) ほか

展示解説

当館職員が企画展の解説をいたします
日時: 令和3年11月21日(日)
13:30~14:00
場所: 盛岡市都南歴史民俗資料館
本館展示室
参加費無料、申込不要です
当日直接ご来館ください



種痘証(明治10年)(当館蔵)

休館日

令和3年 11月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

令和3年 12月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

令和4年 1月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

盛岡市都南歴史民俗資料館

場所 盛岡市湯沢 1-1-38(都南つどいの森内)

交通 [車] 東北自動車道盛岡南 IC から 5分

または盛岡駅から 30分

または岩手飯岡駅から 10分

※「都南つどいの森」の案内板が目印です

[バス] 盛岡駅から矢巾営業所行乗車、
湯沢県営住宅前下車、徒歩 25分

連絡 019-638-7228(Tel/Fax)

